

胎内市総合計画策定に係る市民ワークショップ 第3回ワークショップの報告

1. ワークショップの概要

◎テーマ：目標を実現する施策案の検討

◎日時：2016年4月13日（水） 19:00～21:00

◎会場：胎内市役所 501 会議室

第3回目となる今回は、「こんなことができたら良いな」という提案をまとめるため、前回までの検討内容を掘り下げたり、話し足りない部分を話しあったりという作業を行いました。

ワークショップ参加者だけでなく、これまで毎回のように来ていただいていた見学者の方も時に話し合いの輪に交ざって、白熱した議論が行われました。

グループ毎の成果はいつものように次頁以降に掲載していますのでこちらも是非ご覧ください。

2. 当日の流れは・・・

①開会挨拶



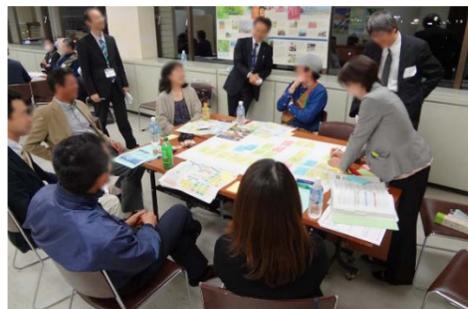
はじめに、胎内市からごあいさつと当日の進め方に関する説明を行いました

②グループ別討議 その1



まず、これまでの議論の振り返り当日の議題を確認して議論に入りました

③グループ別討議 その2



見学者の方も巻き込んで賑やかに意見交換を行いました

④全体発表



発表は各グループの特徴が現れたものとなりましたこのグループはパンフレットを持っての発表でした

3. 次回の予定は・・・

◎5月25日（水）19時～21時「住民提案のまとめ」をテーマに開催の予定です

過去3回の検討内容を1つにまとめた資料の叩き台を事務局で作成しますので、これをもとにワークショップの提案をまとめる最後の検討を行います。是非ご参加ください！

また、「各グループで共通する内容があるのではないか」「既に行われている政策等の提案があるので情報交換をすべきでないか」というご意見をいただいていることから、開催前に他のグループの参加者と意見交換・情報交換をする時間を取ります。都合のつく方は18時に会場へお集まりください！

4. 第3回ワークショップの成果

ここでは、ワークショップの成果の見方をご説明します。

◎本ワークショップは、現在の総合計画の枠組みに則り「自然環境」「福祉・健康」「産業振興」の3グループに分かれて検討を進めています。

- ・「自然環境」グループには、①自然環境、②エコ、③文化・教育 の分野が
- ・「福祉・健康」グループには、①福祉・健康、②少子化対策、③人権・平等、④都市基盤、⑤防災・防犯 の分野が
- ・「産業振興」グループには、①産業、②雇用、③交流 の分野が含まれています。

◎紙面の大部分を占める色のついた箱が並んでいる箇所は、ワークショップの際にテーブルに広げた模造紙の内容を再現したものです。



この4種類の箱は、ワークショップ参加者が模造紙に貼り付けた付箋を表しています。

ワークショップ参加者の意見・アイデアは通常、黄  の付箋に、複数の付箋を代表するような意見、キャッチコピー等は青  または緑  の付箋に、（青または緑の付箋を使用しないで、同じような意見を四角で囲んで表示するグループもあります）課題に関する指摘は赤  の付箋に 書かれています。

◎男女のイラストから出た吹き出しは、「④全体発表」の中で発表された模造紙の概要説明とこれに対する意見を要約したものです。

※ 付箋の内容は参加者の個人的な見解が書き込まれたものです。また、次頁以降のまとめは一部内容を要約した箇所があります。そのため、一部実際の状況と異なることがありますのでご了承ください。

↓ 第3回ワークショップの成果は次頁以降をご覧ください！ ↓

自然環境グループの発表抜粋



○ 前回色々と話が出た「胎内市の地域資源があちこちに点在している」というところから議論を開始しました。

○ まず、市民、市役所、企業などの連携をどのようにとったらいいかということで、自然環境、教育・伝統文化の各分野でやっていること、やるべきことをあげていきました。

○ 市民については「道の駅やパンフレットがどこにあるか知らない」「もっと情報発信が必要」、市役所については「市民目線となっているか」、企業については、旅館組合なら旅館の情報発信、胎内市の動物園やトレイルランニング等について話が出ました。

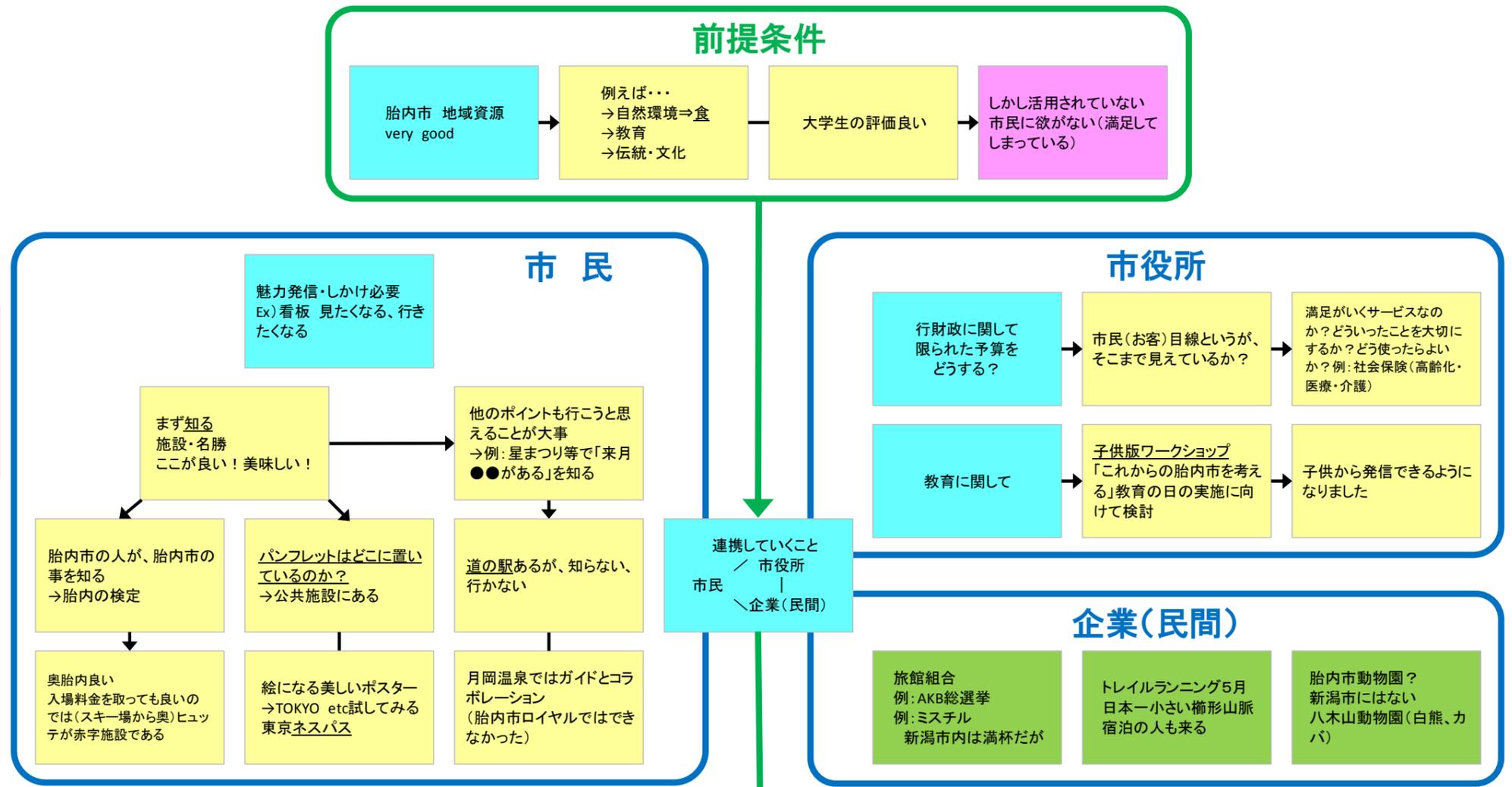
○ これらについて、テーマに設定した「知れば知るほど住みたくなるまち」にするにはということで、「せっかく良いパンフレット等があるので、市民よりも市外・県外の興味のある人に見てもらったほうが良いのではないか」といった意見が出ました。

○ また、前回のWSで「子どもにもこういうWSをしたらどうか」という話が出ていたのですが、実際に教育委員会に話をし、今年度～来年度から実施の実施に向けて検討することになったことをご報告します。

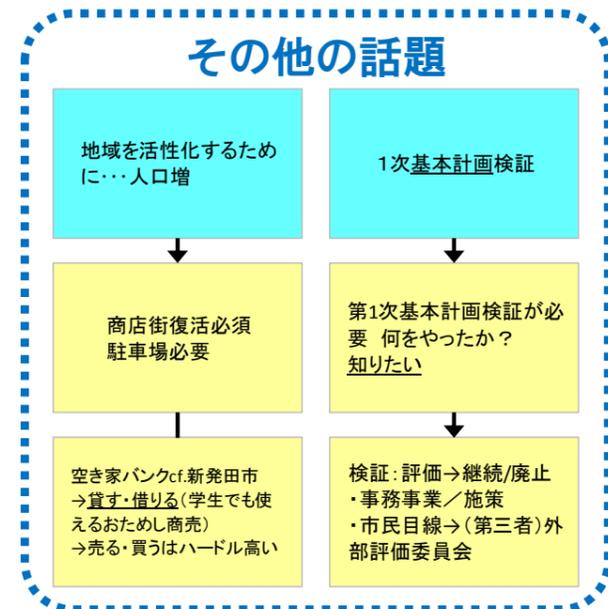
他のグループからの指摘事項等



○ 教育についてあまり意見が出ないので残念に思います



テーマの実現 「知れば知るほど住みたくなるまち」



福祉・健康グループの発表抜粋



○ 前回のキーワードである人や施設を結んで点～線～面へと連動していくためには、まず人材だろうということで人をキーポイントに話をしました。

- 他の自治体には「若者と女性の夢応援課」という部署があるよという情報提供があり、胎内市では困っている人が「これで困っている」と言える窓口をつくろう。福祉分野に限らずどこにでもつなげられる“市民人事課”なるものができないだろうかと考えました。
- そのためにはコーディネートしてくれる人（点と点を線で結べる、面で見られる人）が必要で、とても重要な役割なので充て職ではなくきちんとした人材を募集したいといった話が出ました。

- さらに、「そんなことで困っている人がいるのなら私助けられます」という人がここにいてくれる。その時にキーワードとなるのが“自分らしく輝ける場所”があること。
- 助けて欲しい人が来る。コーディネートしてくれる人がいる。自分の特技を活かして人を助けることで助けた人も輝ける。それがいつでもやれる場所があれば、きっとうまくいくよねという話になりました。

- マッサージが得意で祖父母にマッサージをやっている子どもがマッサージのお店を出す。趣味でお菓子作りをやっている人がちょっと市民の方に提供できる。仕事にしている人ではないけれど、「これ私得意よ」というものを提供できるマーケットを“闇市”と名付けて設けてみたら、自分らしく輝ける場所を提供できる。
- そこでつながった人が“市民人事課”でまとまっていけば、困った時に、「あの人があれ得意だよ」ということでまたつながっていくというアイデアも出ました。

他のグループの指摘事項等

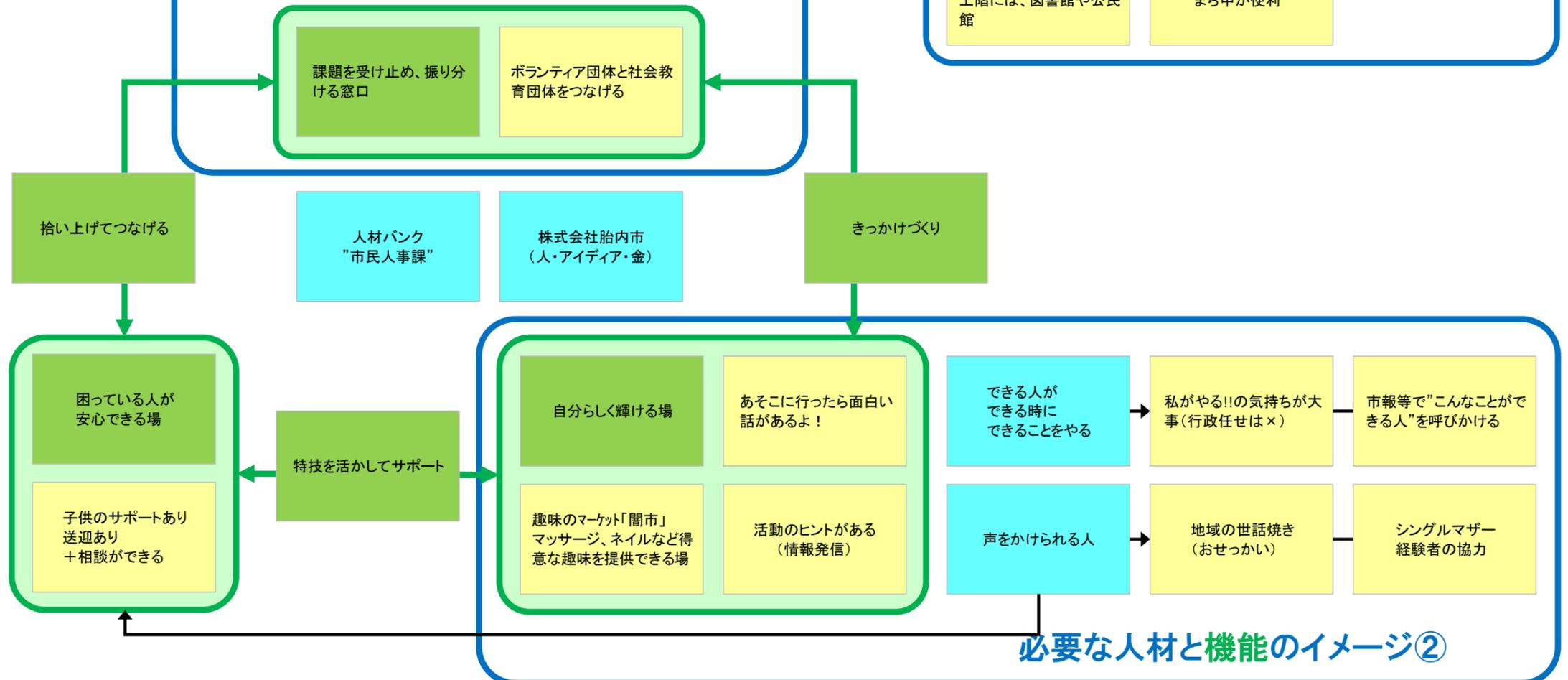
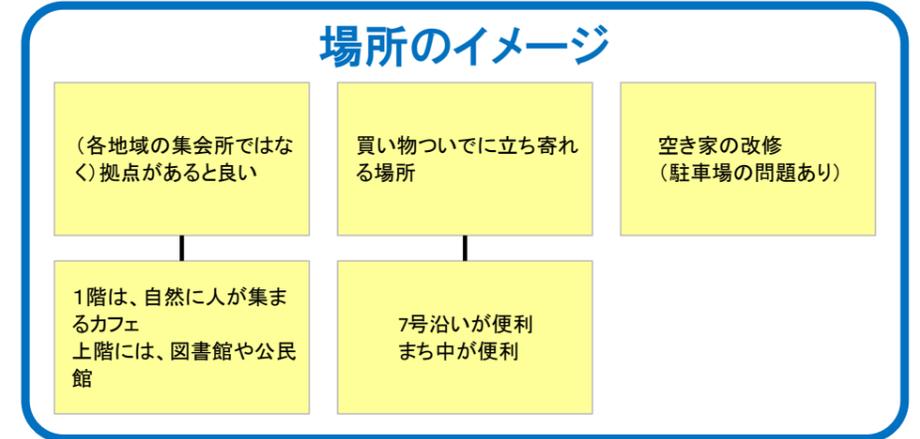


- 市民人事課すばらしい！実現することを期待しています。
- 市民人事課の考え方が非常に面白かったです。潜在労働者ないし技能者は沢山いると思うので、そういう人達の活躍の場を創出できるのは素晴らしいと思います。

必要な人材と機能のイメージ①



場所のイメージ



必要な人材と機能のイメージ②

産業振興グループの発表抜粋

○ 今回は、農業、商業、観光について、前回まとめたところから更に掘り下げて具体的に案を出していきました。



○ 最終的に、企業も市民も行政も「こうしてくれたらいいのに」と人任せにしないで、まず自分から動こうという話で締めのような形になりました。

他のグループからの指摘事項等



- 農家の方の婚活については、JA 青年部さんが昔から色々工夫してやられているので、より良い情報発信の方法や既存の取組を超えるようなアイデアが提案できると良いと思いました。
- 「あなたがやしてなく私がやる」の発表が良かった。
- 「農産物のマーケティングを市民から」「農産物の勉強会 to 農家さん」というアイデアが面白い!!
- 空き家バンクは求めるのではなく市から空き家を探すことも行い早めの空き家確保を行った方が良くと思う。
- 新発田で写真ストリートのようなことを行っていたと思いますが、各お店に協力してもらい商店街の店頭写真に貼ってもらうのはどうか(今小学生の絵を貼っていますがその写真バージョン)。
- 駅前に観光案内所がないのは問題。

農業

- 農家さんのために国内や世界でどういいう需要があるか勉強会を開き、農業をしたいという担い手の人達と一緒に新しい農業を作り上げていってほしい。
- 農家の婚活は普通の婚活パーティーではなく農業体験等を交えてはどうか。
- 特産品、特に米粉については、グルテンフリーの食材として注目されているので、美容の観点から売りだしてみたらどうかといった意見が出ました。

商業

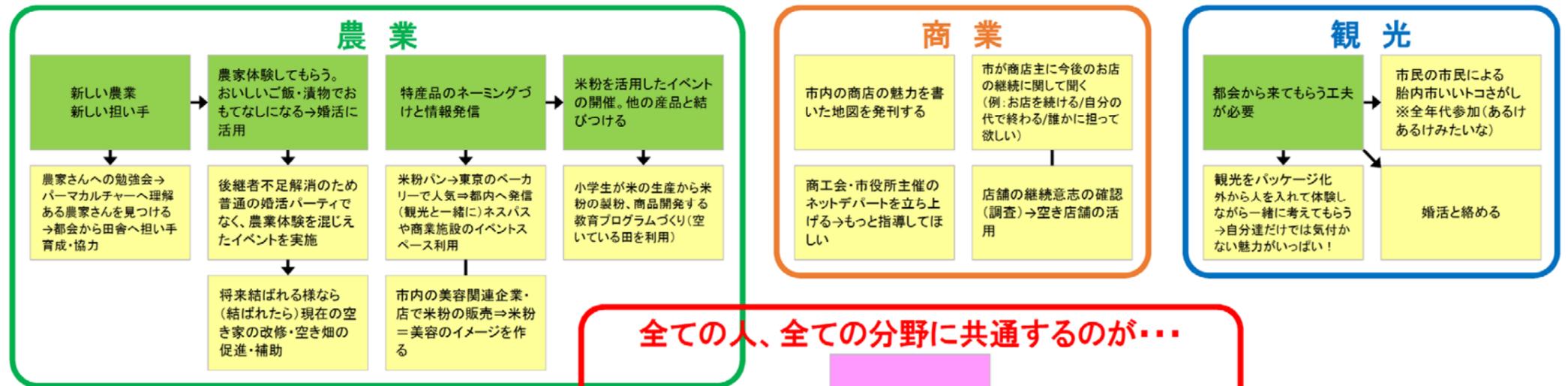
- 市全体がまとめて見られるネットのデパートのようなウェブサイトをつくってそこから定期的にアドバイスがもらえるようなシステムがあると良い。
- 市が商店をやっている方に対して「担い手が欲しい」「場所を使っても良い」等も含めたお店の継続意向について聞いてもらえるとう良いという意見も出ました。

観光

- 胎内市の観光スポットを市外・県外の人に実際に体験してもらって、どういう風に回ると楽しく観光できるのかを一緒に考えて一日観光・滞在のパッケージをつくることといった意見が出ました。

市民、行政、企業がすべき事

- 今回のような WS ではみなさん良い意見をたくさん言っているが、まだ点なので、市民は市民を巻き込んでもっと多くの方と情報交換をしていけたらいい。
- 行政については、財政面の援助、そして形ばかりの支援ではなく、1人1人親身になって、協力してまちを盛り上げるために取り組んで行って欲しい。
- 企業については、この地に企業をつくるということは「水がきれい」などきつと何か良いことがあってのことだと思うので、もっともっと胎内市の良さを県外にアピールして欲しい。企業で働く人も胎内市の市民の1人としてどんとん市をアピールする観光大使のようになって欲しいといった意見が出ました。



全ての人、全ての分野に共通するのが…

人のせいにならない

